

尊氏戦勝挽回 祈願の地



広島県

尾道市

北前船等の寄港地として知られる尾道市は、瀬戸内のほぼ中央、広島県東南部に位置する温暖な町です。

尾道といえは、坂と寺のまちとしても有名です。浄土寺をはじめ、幾百年の歴史を刻む25ヶ寺が建ち並び、古いたずまいを残す家々と趣のある坂道や路地など、どこか懐かしい光景が旅人や多くの文人墨客に深く愛され、文学や映画の舞台ともなっています。また令和元年には、尾道市と愛媛県を海の道で結ぶ「瀬戸内しまなみ海道」が、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして「第一次ナショナルサイクルルート」に認定されました。



吉和太鼓踊り

そして、尾道は足利氏に深い関係のあるまちでもあります。

建武3年（1336）2月、後醍醐帝軍に一旦は敗れた足利尊氏は西走の途中、備後鞆の浦で光厳院より院宣を賜り尾道に入りました。尊氏一行は浄土寺に参籠し、戦勝挽回を祈願するとともに、瀬戸内海の地理に明るく強力な海上輸送力をもつ尾道の豪商達を

味方につけ、彼らの水先案内により九州へと向かいました。やがて、九州多々良浜の決戦で大勝した尊氏軍は、東上の途中、再び尾道に寄港しました。ここで、将兵達の食糧補給や休養にあたりながら尊氏は主だった武将達と共に浄土寺に参籠し、戦勝の御礼と今後の加護を祈願しました。ま



浄土寺

た、尊氏は家臣らと歌会を催し、自詠の和歌七首を含む「三十三首法楽和歌」を奉納しました。

その後、尊氏は湊川で勝利をおさめ幕府を開くと尾道の豪商達に報いるため、自由な交易を認めるなどの便宜をはかりました。そして尾道は経済港として長く栄え、今日に至っております。

会員：尾道市、尾道商工会議所、浄土寺、

尾道足利氏ゆかりの会

■行事

- 4月下旬 尾道みなと祭
- 5月初旬 尾道新能
- 7月下旬 おのみち住吉花まつり

●尾道市

<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/>

●尾道商工会議所

<http://onomichi-cior.jp/>

●浄土寺

<https://ermjp.com/j/temple/>

